



つながれ！ひろがれ！

和・輪・話

会津教育事務所社会教育だより

令和7年度 No.5 令和8年2月27日発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



第5回の会津教育事務所社会教育だより「つながれ！ひろがれ！和・輪・話」では、令和7年度に行われた会津域内の**公民館訪問の様子**について紹介します。

会津教育事務所では毎年、域内13市町村すべての公民館訪問を行っています！！

(1) 令和7年度公民館訪問を振り返って

会津教育事務所では、各市町村の担当者の皆さまと直接顔を合わせ、じっくりお話を伺う時間を何よりも大切にしています。その思いを胸に、今年度も域内13市町村すべてを訪問させていただきました。

実施にあたっては、5月の「域内社会教育担当者会議」にて、2つのお願いをいたしました。一つは、社会教育指導員の方々をはじめ、より多くの関係者の皆さまに加わっていただき、「学びと交流の輪」を広げること。もう一つは、従来の「説明と指導」という形を離れ、現場の皆さまが主役となって本音で語り合える「対話の場」にすることです。

おかげさまで、今年度の訪問も無事に終わることができました。各地で皆さまが主体的に知恵を出し合い、活発に意見を交わされる姿を拝見できたことは、私たちにとっても大きな喜びであり、励みとなりました。

今回は、その中でも特に印象に残った「特色ある事例」をご紹介します。



【喜多方市】



喜多方市には15の公民館があり、その中から当番館となる3館が、事業概要や成果・課題についての発表を行いました。提示された課題について参加者全員がグループごとに分かれ、解決に向けた具体的な協議を行っています。

【会津美里町】



事務局による事業実績の中間報告後、「これからの講座・事業の在り方」についてグループ協議を実施。その後、会津三十三観音の一つである法用寺三重塔などを見学。町内の史跡への理解を深め、地域資源を再確認する貴重な機会となりました。

【西会津町】



概要説明の後、担当事業を見直すための演習が行われました。提示された視点で事業を振り返り、グループ協議や指導助言を経て改善策を探ります。マナー化を防ぎ、常にブラッシュアップを図るための工夫が凝らされた研修となりました。

(2)会津域内の特色ある事業紹介

「これからの公民館の役割」と併せて、会津域内の公民館で行われている取組について紹介します。

地域課題の解決(地域をつくる取組)

公民館には、複雑化する地域の困りごとを、住民自らが解決する拠点としての役割があります。会議の場づくりや、防災・福祉などの実践的な活動を推進します。

会津若松市大戸公民館

「大戸地域防災事業」を区長会や消防団、民生児童委員等と協力し実施。災害や大戸地区の防災リスクを学び、地域住民の防災意識を高めるとともに、地域ごとの防災マップを作成。自主防災組織設立のきっかけとなった。

湯川村公民館



地域課題解決のスキルを磨く成人教育「マナビスゆがわ」。生活環境講座では、湯川村のゴミ排出量や減量策を学んだ後、会津若松市の焼却施設を見学。村の現状を知り、実際の処理現場を目の当たりにすることで、ゴミ問題に対する意識を「自分事」へと深める機会となった。

多様な学びの創出(未来をつくる取組)

公民館には、変化の激しい時代を生き抜くための、新しい知識や技術を提供する役割があります。デジタル、多文化、環境など、多様なニーズに応える場を提供します。

柳津町中央公民館

長年続いた町民運動会を「スポーツフェスタ」に刷新。脳活やボディメイク、ボッチャやドローン体験など、時代と住民ニーズに合わせた内容に変更。幅広い年齢層が興味に合わせて集まり、地域が活気づく新たな交流の形となった。

会津坂下町中央公民館

「生涯学習まちづくり出前講座」を実施。地域住民の学びたいニーズを受け、公民館が仲介役となって講師を依頼。毎年、講座内容ごとに町内の人材リストを作成している。役場他課や警察、NPOなどが講師リストに入っている。

人・つながりの場(絆を結ぶ取組)

公民館には、世代や属性を超えた交流を生み、地域のセーフティネットを築く役割があります。「顔見知り」を増やし、孤独を防ぐコミュニティの基盤を作ります。



喜多方市姥堂地区公民館

「ニュースポーツ交流会」では、姥堂小学校全児童とあやめ大学むつみ学級（高齢者）が交流。異なる世代が共に学び、活動する機会を提供している。

金山町中央公民館

高齢者教育の一環として、川口高校生による「介護予防講座」を昨年度より継続して実施。定期的な体組成測定を行い、数値に基づいた健康づくりを図るとともに、世代を超えた心の交流が生まれている。

猪苗代町体験交流館

中学生が企画・運営を担う「猪苗代町スポーツフェスティバル」を実施。多くの地域住民や保護者の協力を得て、多数の小学生が参加。中学生が主体的に動き、多世代交流を通して地域コミュニティを活性化させる、活気あふれる事業となった。

「支える」活動への転換(主体性を育てる取組)

公民館には、住民の「やりたい」を後押しし、一歩踏み出す人を増やす伴走者の役割があります。教える側・教わる側の垣根をなくし、住民の主体的な活動を支援します。

磐梯町中央公民館

磐梯町の「文化遺産ワークショップ」では、講師が一方向的に教えるのではなく、住民同士が知識を共有し、自らマップを作る過程を支援している。現地調査等を通じ、住民の主体的な学びを支えることで、地域への愛着醸成と活性化を後押ししている。

昭和村公民館

地域の「暮らしの達人」を講師に招く講座（しめ飾り、そば打ち等）が定着。高齢者が伝統技術を伝授し、生活の知恵を共有している。公民館は場と機会を整える黒子に徹することで、住民が主役となる学びの場を創出している。

「協働」による取組(枠を超えた取組)

公民館には、行政、学校、企業、NPO 等と連携し、単独では困難な事業を地域の資源を活かして実現する役割があります。あらゆる主体を繋ぎ合わせることで、活動の可能性を最大限に広げます。



会津美里町新鶴生涯学習センター

「ヤンボラにいつる」では、小・中・高校生によるボランティア事業を実施。持続可能な事業になるよう会津自然の家、尾瀬保護団体、新鶴こども園、新寿学級（高齢者）等と連携しながらボランティア活動を実施した。

西会津町公民館

中学校と連携し、ビブリオバトルを実施。授業の中でビブリオバトルを生徒に体験してもらい、図書館の利用促進を図ることが目的。学年、そして学校の予選会を実施し、代表者が福島県大会会津予選会に出場した。

三島町公民館

総合学習支援事業として小学校と連携し、「桐の学習」や「田んぼの学校」、「おばあちゃんの味」を実施。多くの町民の協力による地域に根ざした教育支援を行うとともに、異世代交流の場を創出している。子供たちの学びを支え、高齢者の生きがいづくりにも寄与している。

北塩原村公民館

(株)エヌ・エス・シーと連携し、高齢者向け「スマホ教室」を村内4地区で開催。LINEから生成AI、防災・健康管理アプリまで、参加者の潜在ニーズに応じた多彩なプログラムを提供。最新のデジタルスキルを習得できる機会を創出し、生活の質の向上を図っている。



令和7年度の公民館訪問は、全市町村において無事終了いたしました。次年度もさらに充実した内容とするため、より多くの皆様にご参加いただくとともに、各市町村におかれましても、実りある一日となるよう協議形態の工夫を引き続きお願いいたします。社会教育の発展に向け、皆様と共に考えて参りたいと思います。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。